

「校務支援システムのクラウド化におけるクラウド基盤要件書V1.0」普及適合宣言書

要件番号	対応有無	対応状況の詳細	(対応無の場合) 部分対応、未対応の理由	
①-	1	○	Jip-Baseは日本国内のデータセンターで稼働し、日本国の法令範囲内で運用できます。	
①-	2	○	仮想マシンの稼働するハードウェアは複数で冗長化されており、故障時に自動的に再起動して復旧します。	
①-	3	○	データセンターでは仮想マシンの稼働するハードウェア以外にネットワーク装置なども冗長化されています。	
①-	4	○	単一のリージョン内で99.9%以上のSLAを提供します。	
①-	5	○	受電方法や無停電電源装置は冗長化されており、自家発電機を有しています。	
①-	6	○	別リージョンの遠隔地バックアップからのリストアが可能なオプションがあります。	
①-	7	○	インターネット回線は冗長化されています。	
①-	8	○	OSを含むデータ全体のバックアップや、ファイル単位の業務データバックアップなど複数手段を提供しています。復元時間はファイルサイズにより異なり、時間がかかる場合がございます。復元時に仮想マシンサイズの変更が可能です。	
①-	9	○	可用性のレベルは、利用者様に選択いただくことが可能です。	
①-	10	○	バックアップストレージは、永続的な保管に対応し、遠隔地へのレプリケーションなど複数の耐久性向上策を選択可能です。	
①-	11	○	ISO27017を取得しています。	
①-	12	○	インターネット環境ではUTM装置をSIEM監視しており攻撃を検知します。また、Jip-Baseは管理系ネットワークがインターネットからアクセスできない高いセキュリティ環境です。	
①-	13	○	複数のストレージでそれぞれランサムウェア対応する機能を所持しています。	
①-	14	○	セキュリティ向上の理由もあり、利用者のクラウド基盤へのアクセスを禁じています。クラウド基盤へのアクセスが可能なアカウントは当社が指定する要員に限定されており多要素認証が必要です。アクセス端末やネットワークも特定されています。	
①-	15	○	当社社員でもアクセス権限を付与して承認を得て作業を行うプロセスです。	
①-	16	○	新サービスや新機能を随時リリースし続けています。	
①-	17	○	事前に申請いただいた帯域において利用が可能です。	
①-	18	○	24時間365日メールや電話での日本語サポートが提供可能です。	
①-	19	○	メンテナンスや障害情報は、メールや情報共有サイトでの日本語通知が可能です。	
①-	20	○	オンプレ環境からのV2V作業を当社主体で提供可能です。	
①-	21	○	容易にリソース変更が可能であり、変更作業は当社が実施します。お客様申告の他、月次性能監視から運用状況を踏まえてリソース変更の提案も実施可能です。	
②-	1	○	Jip-Base (IaaS) はISMAPを取得しています。	
②-	2	○	インターネット環境はSIEMによるログ監視を行っており、端末やサーバのEPP/EDRと相関分析して影響範囲を特定する仕組みがあります。	
②-	3	○	Jip-Baseからプライベートなネットワークでマルチクラウド接続が可能です。	
②-	4	△	構成変更は当社が定める運用ルールに基づき、承認プロセスを経た作業としてのみ実施されます。すべての構成変更は作業記録およびログとして保管され、標準構成から逸脱する変更は運用ルールにより制限されています。これにより、構成変更のトラッキングおよびルール違反の抑止を運用面により実現しています。利用者が任意に構成変更を行う必要はなく、校務システムとして必要な構成変更は当社が責任をもって実施します。	利用者が任意に構成変更を行うセルフサービス型の運用を採用していません。構成変更はすべて当社が定める運用ルールに基づき、申請・承認プロセスを経て実施され、作業記録およびログとして管理されます。そのため、構成変更のトラッキングおよびルール逸脱の抑止は、機能ではなく運用統制により実現しています。
②-	5	○	UTMやNDRなどの境界防御、リソースへのEPP/EDRを適用して相関分析による検出が可能です。	
②-	6	○	仮想マシンリソースにIPS機能、変更監視などを行うオプションを提供しています。	
②-	7	△	必要な監視・バックアップ等の運用管理機能は、当社がマネージドサービスとして提供します。	IaaS型クラウド基盤として、データベース等のミドルウェアそのものをフルマネージドサービスとして一律に提供していません。
②-	8	△	全てのサービスは公開しておりません。問い合わせいただくか個別説明となります。	セキュリティおよび運用統制の観点から、すべてのマネージドサービスに関する詳細な技術情報や用例をインターネット上に一律公開していません。必要な情報については、個別の問い合わせや説明を通じて提供しています。
②-	9	△	利用者自身がクラウド管理画面やAPIを用いて一元管理する形態ではないため、マネージドサービスとして提供される監視およびログ管理は、当社運用基盤に統合され、一元的に管理されています。利用者に対してクラウド管理画面やAPIは提供しませんが、運用者による集中管理により、可用性およびセキュリティの確保を実現しています。利用者が複数の監視ツールを個別に操作・管理する必要はありません。	利用者自身がクラウド管理画面や管理APIを操作して一元管理する形態を採用していません。マネージドサービスとして提供される監視およびログ管理は、当社の運用基盤に統合され、一元的に管理されています。そのため、利用者が複数の監視ツールやログ管理機能を個別に操作・管理する必要はありません。
②-	10	×	Jip-BaseはIaaS型クラウド基盤として、API管理機能そのものはマネージドサービスとして提供していません。	校務システム向けのマネージド型IaaSクラウドとして提供しており、API管理機能（APIゲートウェイ等）を共通のマネージドサービスとしては提供していません。これは、利用者による自由なAPI操作を前提としない運用統制型の提供方針によるものです。

上記の通り、当社は [\(一財\) 全国地域情報化推進協会の規定する「校務支援システムのクラウド化におけるクラウド基盤要件書V1.0」](#) に適合していることを宣言します。

2026年 3月 19日

会社・団体名
サービス名

日本電子計算株式会社
Jip-Base (IaaS)